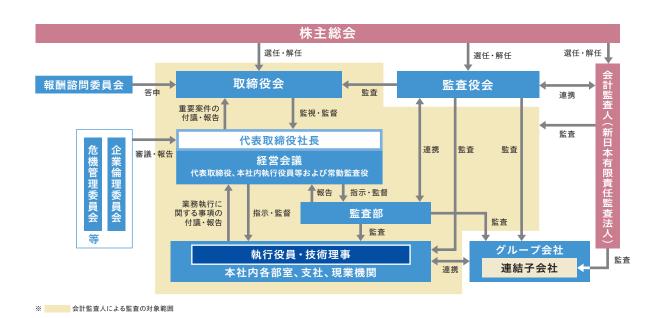
コーポレート・ガバナンス

当社は、「企業理念」および「安全憲章」のもと、安全で安心・信頼していただける鉄道を構築する努力を積み重ね、企業の社会的責任を果たすとともに、将来にわたる持続的な発展を図るため、JR西日本グループ全体において、経営の監視・監督機能の強化、企業倫理の確立をはじめとするコーポレート・ガバナンスの充実に努めています。



コーポレート・ガバナンス体制の概要

当社は、コーポレート・ガバナンスの体制として会社法上の監査役設置会社を採用しており、十分な独立性を有する社外役員を積極的に招聘するなど、体制の充実に努めています。

取締役については、14名のうち監視・監督に特化する取締役として5名の社外取締役を選任し、経営の健全性・透明性の確保に努めています。社外取締役については、取締役会の一員として経営上重要な業務執行の意思決定に参画するとともに、豊富な経験や専門的な知識に基づくアドバイスおよびモニタリングにより、監視・監督機能の一層の強化を図っています。さらに、社外取締役に対する業務執行状況の説明の機会を増やすなど、社外取締役への情報伝達の充実を図っています。

また、業務執行の最高責任者を「社長」に一元化するとともに、 執行役員への権限委譲を行うことにより、意思決定や業務執行 の迅速化を図っています。

監査役については、社外監査役3名を含む4名を選任し、それぞれが取締役の職務の執行について、適切な監査を行い、経営の透明性・公正性を確保しています。

また、社長を委員長とする「企業倫理委員会」を設置し、企業倫理の確立に関する重要な事項について審議・評価を行い、取締役会へ必要な報告を行っています。

さらに、内部統制システムについて、法令などに基づき、基本 的な考え方および体制を整備するとともに、取締役会への運用 状況の報告などを行っています。

取締役会

原則として毎月1回開催し、経営上重要な事項について審議を行うとともに、業務執行状況や安全に関する事項、企業倫理に関する事項などについて、適時、適切に報告を受けることにより、職務執行について相互に監視・監督を行っています。

経営会議

代表取締役、業務執行取締役、本社内執行役員、技術理事および常勤監査役で構成され、原則として週1回開催し、経営の基本的事項を審議しています。

監査役および監査役会

監査役については、監査役会で策定した監査の方針、監査計画に基づき、取締役会その他重要な会議への出席や支社・現場への往査などを行い、また、必要と思われる事項について各取締役などから個別聴取を行うなど、取締役の職務の執行を監査するとともに、必要な助言・勧告などを行っています。さらに子会社などに対し、事業の報告を求め、必要に応じてその業務および財産の状況を調査しています。また、監査役会を定期的(毎月1回以上)に開催し、監査に関する重要な事項について報告を受け、協議・決定しています。

役員一覧 (2013年10月1日現在)

取締役 取締役会長(取締役会議長) 佐々木隆之

 取締役
 石川 正 ※
 [弁護士法人大江橋法律事務所特別顧問]

 取締役
 佐藤 友美子 ※
 [追手門学院大学地域文化創造機構特別教授]

 取締役
 村山 裕三 ※
 [同志社大学大学院ビジネス研究科教授]

 取締役
 齊藤 紀彦 ※
 [株式会社きんでん代表取締役会長]

 取締役
 宮原 秀夫 ※
 [大阪大学大学院情報科学研究科特任教授]

※: 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

監査役 常勤監査役 菊池 保孝

常勤監査役 岩崎 勉 ※※

 監査役
 宇野 郁夫
 ※※
 [日本生命保険相互会社相談役]

 監査役
 勝木 保美
 ※※
 [勝木公認会計士事務所公認会計士]

※※: 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

執行役員・常務執行役員白取健治執行役員杉岡 篤技術理事常務執行役員川上優執行役員今井克己

執行役員 藏原潮 常務執行役員 松浦 克宣 執行役員 国広 敏彦 執行役員 土肥 弘明 常務執行役員 二階堂 暢俊 執行役員 福嶋 圭 執行役員 酒井 俊臣 執行役員 井上 敬章 執行役員 野中雅志 執行役員 横山 佳史 執行役員 大久保 敬雄 執行役員 半田 真一 執行役員 岩崎 悟志 執行役員 荻野 浩平 執行役員 児島 邦昌 技術理事 松田 好史 執行役員 生駒 隆生 執行役員 森川 国昭 技術理事 十田克己 執行役員 中村 圭二郎 執行役員 倉坂 昇治 技術理事 田仲文郎 執行役員 緒方 文人 執行役員 江尻 憲昭 技術理事 平野 賀久

新任社外取締役からのメッセージ

システム機能が向上するにつれ、そのシステムを安定かつ安全に稼働させるには、より一層の配慮が求められます。通常、安全・安心なシステムの設計には、フェールセーフという考え方がとられます。これは、システムに、何らかの故障(フェール)が発生したとき、システムが安全サイドで停止するように、あらかじめ設計しておくことです。「あらかじめ」ということは、設計段階において、起こりうるあらゆる場合を想定しておかなければなりませんが、実はこれがそれほど容易なことではありません。フェールセーフがうまく機能しなかったとき、時として「想定外」ということが言われますが、これは、単にエクスキューズでしかありません。安全・安心なシステムの設計には、すべての場合を想定したかどうかのチェックがきわめて重要となります。

これまで行ってきた情報通信技術の研究を活かし、JR西日本においてもさらに安全・安心なシステムが実現できるよう、社外取締役としての役割を果たしてまいります。



社外取締役 宮原 秀夫

執行役員 伊勢 正文

1973年1月 大阪大学工学博士 1973年4月 京都大学助手

1980年4月 大阪大学基礎工学部助教授 1989年10月 大阪大学基礎工学部教授

1998年4月 大阪大学基礎工学研究科長・基礎工学部長

2003年8月 大阪大学総長

2007年9月 独立行政法人情報通信研究機構理事長 2013年4月 大阪大学大学院情報科学研究科特任教授

2013年6月 当社取締役に就任